

# 共生・協働の 地域社会づくり

タートル クルー  
NPO法人Turtle Crew  
TEL 0997 (27) 0050

## ウミガメをテーマに種子島から発信する自然共生活動

NPO法人Turtle Crewは、ウミガメの代表的な産卵地である種子島を本拠地に、ウミガメの調査研究や海洋体験事業などを通じて、自然の大切さについて学び、伝える活動を展開しています。

理事長の久米さんは、大学の海洋学部を卒業後、サラリーマン生活を経て漁師になり、その傍ら海洋写真家になることを目指して、平成9年に種子島に移住してきました。ある時、定置網にかかったウミガメにタグがついていることに気づき、ウミガメの保護について考えるようになりました。その後、四方を海に囲まれた種子島でも、海で遊ばない子ども達が増えている現状を憂い、子ども達へ海の楽しさや自然の大切さを伝えたいという思いから、平成24年にNPO法人を設立しました。

主な活動としては、ウミガメの産卵孵化や回遊などの調査活動を行っていただきます。海を渡るウミガメがきっかけとなり、ハワイやメキシコなど海外の研究者とも交流しています。



海洋体験

また、ヨット上から海のごみとウミガメを探す海洋体験事業の「ウミゴミガメ」や、学校やイベント会場でウミガメの写真を使った紙芝居風の「カメ芝居」を披露するなど、普及啓発活動も行っています。

NPO法人設立前から関係団体やボランティアの協力により、中種子町の熊野海水浴場で開催している「うみがめまつり」は、今年で9回目を数え、地域住民や観光客も楽しみにしている一大イベントに成長しています。

平成25年度からは、地元産品の有効活用を図る「たまたまはこプロジェクト」にも取り組んでいます。市場価値のない規格外の地元産品を、廃校跡を活用した「たまたま工房」でスイーツや燻製品に加工し、販売しています。特に、安納芋を使用し、カメをかたどったシュークリームの「カメシュー」は、

自慢の一品となっており、極力添加物を使用しない食品づくりを心がけているため、在庫管理などの課題もある。



「うみがめまつり」で砂ガメを作る子ども達



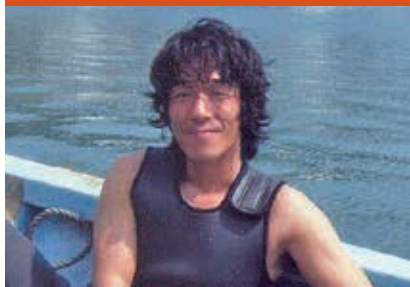
カメシュー

りませんが、自然保護や地域資源の情報発信につなげていきたいと久米理事長は語りま

このほか、中種子町が進める熊野海水浴場自然レクリエーション村のリニューアル計画に際しても、海の専門家の立場から、積極的な提言を行っています。

このように、行政や各種団体と連携して、ウミガメを通じて、子ども達に自然を大切にする心を育み、人と自然が共生共存する未来の実現に向けた活動や地域の活性化に取り組んでいます。

### 代表者からひとこと



理事長の久米 満晴さん

「海で笑おう」自然の大切さを感じるの  
はそこから始まる。ウミガメをテーマに人  
と自然が共生共存する明るい未来を目指  
しています。

共生・協働の地域社会づくりや  
NPO法人に関する問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241  
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613  
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。